

食べれるプラスチック



上田染谷丘高等学校 1年 合津 凜杏

テーマ設定の理由

・最近のニュースなどでクジラ や
ウミガメ、海鳥などの体内 からプ
ラスチックが出てきて いるというも
のを見て、海洋 環境への影響が
大きいと感じ たから。



現状

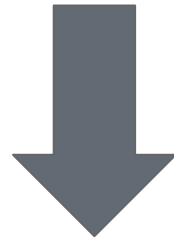
回収されたプラスチックごみの**79パーセント**が埋め立て、または、海へ投棄されている。

2050年には海中のプラスチックごみの重量が魚の重量を超える



課題

プラスチックごみは紫外線による劣化や波の作用などにより破碎され、やがてマイクロプラスチック(5ミリメートル以下の小さな粒子)になる。それが海洋生物たちに取り込まれることで、**生態系への影響**や、それを食する**人体への影響**も懸念されている。



自然分解ができるプラスチックはないか

提案

バイオパックを使おう!!

バイオパック → 海藻を原材料とした
食べられる食品包装素材



バイオパック

<利点>

- ・天然素材でできているため微生物によつての分解が可能
- ・水に溶ける素材のため、海や土の上でも分解が可能

まとめ

- ・今回提案したバイオパックは一つの考えとして出したものである。一人ひとりがプラスチックを主としたゴミ出さないようにすることは続けた方が良く考える。
- ・食品包装素材と先程述べたが、入浴剤や粉末スープのパッケージにすることでまるごと使いきれるというような考えもできるので、可能性は大きいと思う。
- ・この提言を書くにあたって私自身初めて知るようなことが多くあった。それを踏まえ、もっと多くの人にSDGsやその背景について知ってもらいたいと感じた。

引用元・参考文献

<https://litehugger.jp>

海藻を使った環境に優しいパッケージ
「BIOPAC」が日本で販売開始

<https://www.egmkt.co.jp>

プラスチック問題とは？プラスチックごみ
がもたらす影響や家庭でできる取り組み
などを解説